

全国的なサポート体制の整備及び 補助金の活用状況・省力化投資の実績について

2026年4月

中小企業庁

全国的なサポート体制の整備について

① 省力化ナビ（中小機構Webサイト）を活用したプッシュ型支援

- **2026年3月26日 サービス開始**
- 開発したツールは中小機構Webサイトに掲載
- 業界団体・商工会・商工会議所・金融機関・中小企業団体中央会等が周知し（例：商工会議所の経営指導員が、巡回指導中に、事業者ツールを紹介）、省力化ナビ活用を促進

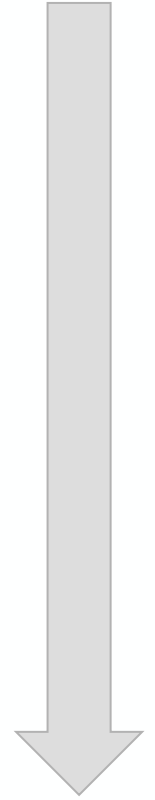
② 商工会・商工会議所による専門家派遣

- **2026年2月頃～ 支援開始**
- 商工会・商工会議所から派遣された専門家が省力化ナビの活用を支援
- 専門家延べ**約800名**の体制で、**年間4万件程度の支援**を想定
- 専門家としては、中小企業診断士や社労士など、省力化・賃上げに強い人材を想定

③ 生産性向上支援サポーターの伴走による専門的支援

- **2026年4月1日 47都道府県**のよろず支援拠点に**生産性向上支援センター**を開設
- **約500名のサポーター**の体制で、年間**4000事業者程度**へ支援を行うことを想定

省力化のきっかけ作り、
簡易的な支援



専門的な支援

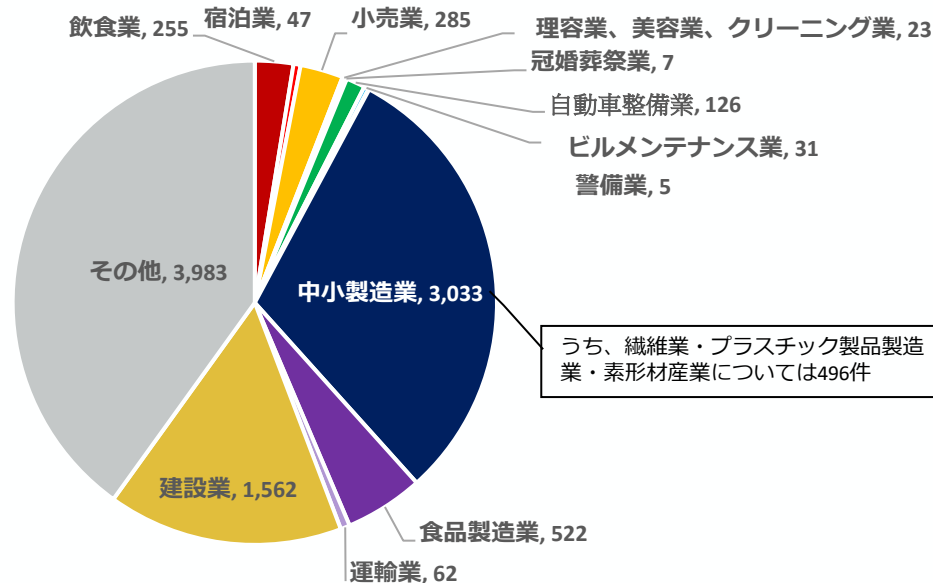
省力化投資補助金、デジタル化・AI導入補助金の活用状況

- 2025年4月1日～2026年2月28日の間に、省力化投資補助金、デジタル化・AI導入補助金に採択された事業者の業種別採択件数は以下のとおり。省力化投資の実績額は約4,877億円。

省力化投資補助金 採択件数割合（業種別）

※カタログ注文型・一般型合算

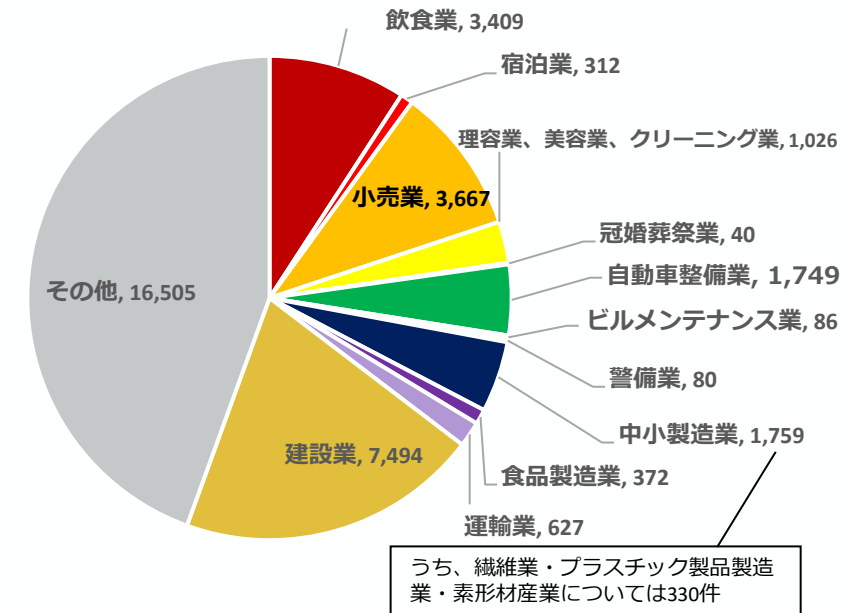
(n=9,941)



省力化投資の実績額：約3,610億円

デジタル化・AI導入補助金 採択件数割合（業種別）

(n=37,126)



省力化投資の実績額：約1,267億円

省力化投資の実績額：約4,877億円

(補足) 「省力化投資の実績額」は事業者が補助事業申請時に事業総額として記載した金額を指す。

(補足) 中小製造業の採択件数は日本標準産業分類（令和5年総務省告示）における「大分類 E 製造業」から「中分類 09 食料品製造業」及び「中分類 10 飲料・たばこ・飼料製造業」を除いて集計。

(参考) 全国的なサポート体制の整備に関する施策チラシ

伝票整理が煩雑で
経理が進まない

人が足りず
お客様を
待たせてしまう

人材育成にかけると
時間が取れない

こんなお悩みには

省力化ナビ

無料で使える! ¥0

人手不足が深刻化し、省力化が求められる時代。
「何から始めればいいのかわからない」という声も少なくありません。
省力化ナビなら、無料で簡単に、業種別のお悩みとその解決策をご紹介。
省力化への第一歩をわかりやすくサポートします。

1 業種別にノウハウを整理

- 業種別に特化したノウハウを整理。
- さらに、会計や人事など、業種横断的な業務にも対応。

2 イラストなので直感的に理解できる

- よくある課題と解決策をイラストで紹介。
- 具体的な事例や、無料でできる3ステップなども紹介。

中小企業によくある課題

飲食業

- 経理が煩雑でミスが繰り返されてしまう
- お客様の多い店舗で接客が回らない
- 忙しすぎて接客が取りに行かない

中小企業によくあるお悩みをイラストで表示

解決策

飲食業

- ステーションコンピュータを導入することで業務の効率化が可能
- 店舗のサポート要員による接客アップ
- モバイルオーダー導入でオーダーを待たせない

キーワードをクリックすると解決策のヒントやアイデアが表示

❗ 補助金活用にもメリットがあります。

❗ 補助金活用にもメリットがあります。

詳しくは裏面をご覧ください。

業種別のお困りごとに対応

2026年3月末公開	<ul style="list-style-type: none"> ● 飲食業 ● 宿泊業 ● 小売業 	<ul style="list-style-type: none"> ● 理容・美容業 ● 自動車整備業 ● 製造業 	<ul style="list-style-type: none"> ● 運輸業(トラック・倉庫) ● 建設業 ● 十業種共通(バックオフィス業務)
2026年8月公開予定	<ul style="list-style-type: none"> ● クリーニング業 ● ビルメンテナンス業 	<ul style="list-style-type: none"> ● 冠婚葬祭業 ● 運輸業(バス・タクシー) 	<ul style="list-style-type: none"> ● 警備業

省力化ナビの使い方

業種の選択

フォームに沿っていくつかの質問に答えるだけ

- 業種
- 所在地
- 従業員数
- 事務所数
- 資本金(任意)
- 売上高(任意)

※支援機関の方は支援機関名を選択

簡易チェック

業種別によくあるお悩みをイラストで提示
気になるキーワードをチェック

Before (現状の課題)

After (あるべき姿・解決策)

解決策の例やヒントをイラストで表示

- 解決策別のポイントやアドバイス
- 設備選定やアプリ、導入費用の紹介
- 補助金や相談窓口の紹介
- 取組事例の紹介

解決のヒントがわかったら

省力化の支援サービスも併せてご利用ください

1 支援機関に相談する

商工会・商工会議所

ご希望に応じて、商工会・商工会議所の経営指導員や、派遣される専門家などが省力化ナビの活用サポートを行います。

お近くの商工会・商工会議所までご連絡ください。

商工会地区の方

商工会議所地区の方

よろず支援拠点 生産性向上支援センター

生産性向上支援のプログラムが、伴走型で支援します。
無料で、複数回、事業者の皆様の現場に訪問します。

お近くのよろず支援拠点 生産性向上支援センターまでご連絡ください。

2 補助金を利用する 省力化ナビを活用すると以下の補助金の採択審査で**加点**されます

中小企業
省力化投資補助金(一般型)

デジタル化・AI導入補助金

観光地・観光産業における
省力化投資補助事業*

*本事業については優先条件となります。詳しくは特設WEBサイトをご覧ください。

(参考) 全国的なサポート体制の整備に関する施策チラシ

2026年4月開設



中小企業庁

中小企業等の生産性向上を徹底的に伴走！
国がよろず支援拠点内で実施する**無料**の支援です。



人手不足の
中小企業・小規模事業者の
皆さまへ

**よろず
支援拠点
生産性向上
支援センター**

こんな悩みを
ひとりで抱えて
いませんか？

- 「残業が減らず、人が定着しない…」
- 「本当は見直したいが、手作業が当たり前になっている…」
- 「忙しさに追われ、改善に手を付けられない…」

**生産性向上支援センターは、中小企業等の皆さまに寄り添い、
「今の現場に合った」次の一步を一緒に考えます。**

ポイント 1 生産性向上の「プロ」が支援

生産性向上に関する知識・経験豊富な「プロ」が「今の現場に合った」次の一步を一緒に考えます。

ポイント 2 無料・複数回の現場訪問

「相談に行く時間がない」、そんな場合でも、ご安心ください。アドバイザーが何度でも、無料、現場へ伺います。

ポイント 3 補助金活用にもメリット

センターの支援を受けることで、省庁投資補助金（一般型）の採択審査において加点が受けられます。（予定）

質問・相談・予約は、お近くの「よろず支援拠点 生産性向上支援センター」まで、お気軽にお問い合わせください。

お近くの拠点を 調べる

よろず支援拠点一覧 <https://yorozu.smrj.go.jp/base/>

センターで働きたい方はこちら サポーター公募情報

<https://yorozu.smrj.go.jp/recruit/>




※「採択型」の支援は、合計10回程度を標準としています。
※省庁投資補助金（一般型）の採択審査における採点標準については、2026年度以降の公開から業務予定です。
※本事業は、令和8年度最終予算案に基づくものであり、本事業の業務は最終予算案の可決・成立が前提となっています。今後の国会審議次第では事業内容等が変更される可能性があります。予めご了承ください。（2025年3月時点）

よろず支援拠点 生産性向上支援センター 一覧


都道府県名	住所	相談電話番号
北海道	北海道札幌市中央区北1条西2丁目 経済センタービル5階	011-232-2014
東北	青森県青森市新町二丁目4-1 青森県共同ビル7階	017-721-3787
	岩手県岩手県北町二丁目4-26	019-631-3826
	宮城県仙台市青葉区上杉1-14-2 宮城県産業センター2階	022-225-8751
	秋田県秋田県山王三丁目1-1 秋田県庁第二庁舎2階 公益財団法人あきた企業活性化センター内	018-860-5609
	山形県山形県北町一丁目3番6号 山形県産業創造支援センター2階	
福島県福島市清水1-3-8 郡山商工会議所会館内	024-954-4162	
関東	茨城県水戸市川口2-26 茨城県産業会館5階	029-224-5339
	栃木県栃木市中央町1-5-40 ときぎ産業創造プラザ内	028-680-7709
	群馬県太田市本町29-1 ものづくりイノベーションセンター2F	027-265-5016
	埼玉県さいたま市大宮区桜木町1-7-5 ソニックシティビル10階	0120-973-248
	千葉県千葉市美浜区中郷2-6-1 WBGマリアーイースト23階	043-299-2921
	東京都中央区銀座2-10-18 東京都中小企業会館5階	03-6278-7440
	神奈川県横浜市中区東上町5-80 神奈川中小企業センタービル4階	045-633-5100
	新潟県新潟市中央区万代島5番1号 万代島ビル10階	025-246-0058
	山梨県山梨県中央市山之神湯田1-7-3 2階	055-288-8460
	長野県長野市若草一丁目16番1号 長野県工業技術総合センター3階	026-227-6787
	静岡県静岡市東区新屋敷11番地の17 桜井・第一共同ビルディング6階	054-204-1355
	中部	愛知県名古屋市中村区名駅四丁目4番38号 ワンクあいち14階
	岐阜県岐阜市南田5丁目14番53号 ONB.3.れいれい会館1階10階 公益財団法人岐阜県産業経済開発センター内	058-277-1088
	三重県津市栄町1丁目891 三重県合同ビル5階	059-226-3326
	富山県富山県市東田527番地 情報ビル	
	石川県石川県金沢市月2丁目20番地 石川県産業振興センター新館1階	076-267-6711
近畿	福井県福井市大町町町3番3号7階地1-16 福井県産業情報センタービル	0776-67-7402
	滋賀県大津市打出2番1号 コラボL.621	077-511-1422
	京都府京都市下京区中堂寺町134 京都府産業支援センター	075-315-1055
	大阪府大阪府大阪市中央区本町1-4-5 大阪産業創造館	06-4256-3527
	兵庫県神戸市中央区東川崎町1丁目8番4号 神戸市産業振興センター1階	078-977-9084
	奈良県奈良市柏木町129-1	0742-81-3848
	和歌山県和歌山県山本町二丁目1番地 フォルテワジマ6階	073-433-3100
中国	鳥取県鳥取市浜山町東4-100 鳥取県商工会連合会内	0857-31-6851
	島根県島根県松江市北郷町1番地	0852-60-5103
	岡山県岡山市北区豊原町3-10 TOGITOGI 2F	086-206-2260
	広島県広島市千田町5丁目7番47号 広島県情報プラザ1階	082-240-7706
	山口県山口市小郡中央一丁目1-1 山口県産業交流拠点施設4階	083-902-5959
四国	徳島県徳島市南東山町5-8 徳島県経済産業会館2階	0876-676-6225
	香川県香川県高松市林町2217-15 香川県産業振興センタービル2階	087-802-7303
	愛媛県松山市久米窪町4番2-2 テクノプラザ愛媛別館内	089-960-1131
	高知県高知県高知市南町3992番地2 公益財団法人高知県産業振興センター5階	088-834-5580
	九州	福岡県福岡市博多区吉原町5-15 福岡県中小企業振興センター5階
	佐賀県佐賀県佐賀市鶴見町八丁目14	0952-20-1535
	長崎県長崎県長崎市4-1 長崎県工芸館3階	095-828-1462
	熊本県上益城郡益城町田原2081-26 テクノリサーチパーク内	096-286-3355
	大分県大分市東春日町17-20 ソフトパークセンタービル2F	097-537-7101
	宮崎県宮崎県宮崎市朝日1-10 宮崎グリーンスタジアム宮崎1階1050号	0985-74-5084
	鹿児島県鹿児島市城山町1番24号 鹿児島県中小企業会館4階	099-219-1277
沖縄	沖縄県那覇市小樽1831番地1 沖縄県産業支援センター4階405	

よろず支援拠点全国本部 (注) 中小企業基盤整備機構

- 「残業が減らず、人が定着しない…」
- 「本当は見直したいが、手作業が当たり前になっている…」
- 「忙しさに追われ、改善に手を付けられない…」 など、

皆様のお悩みに寄り添い、**成果**がでるまで、**徹底的に伴走**します。

まずはご相談ください。



業務の見える化

ムリムラムダの削減

5Sの徹底

作業の標準化

デジタル活用

生成AI活用

省庁投資の検討

※ご相談内容の一例

(参考) 省力化投資補助金について

- 人手不足解消に効果のある「省力化投資」を後押しする補助金。
- カタログ形式による簡易で即効性のある支援を行う「カタログ注文型」と、事業者それぞれの業務に応じたオーダーメイドによる省力化投資を幅広く支援する「一般型」の2類型を措置。

カタログ注文型		随時申請 受付中	一般(オーダーメイド)型		公募回制		
補助対象となる事業							
<p>中小企業などが省力化製品を対象製品のリスト(カタログ)から選んで導入し、販売事業者と共同で「労働生産性 年平均成長率3%向上」を目指す事業計画に取り組むものが対象です。</p>			<p>中小企業などが省力化効果のあるオーダーメイド・セミオーダーメイド性のある設備やシステムなどを導入し、「労働生産性 年平均成長率4%向上」を目指す事業計画に取り組むものが対象です。</p>				
補助率と補助上限額							
従業員数	補助率	補助上限額	大幅な賃上げを行う場合	従業員数	補助率	補助上限額	大幅な賃上げを行う場合
5名以下	1/2 以下	500万円	750万円	5名以下	中小企業 1/2 小規模・再生 2/3	750万円	1,000万円
6~20名		750万円	1,000万円	6~20名		1,500万円	2,000万円
21名以上		1,000万円	1,500万円	21~50名		3,000万円	4,000万円
				51~100名		5,000万円	6,500万円
				101名以上		8,000万円	1億円

(参考) 省力化投資補助金について

- 令和7年の経済対策において、一般型については補助率の実質的引き上げ、カタログ注文型については補助上限額の引き上げ等の支援拡充を実現。

【一般型】

- ▶ 補助金額が1500万円を超える部分については、中小企業・小規模事業者ともに補助率が1/3となっていたが、今後は1500万円を超える部分についても1500万円までの補助率（1/2もしくは2/3）と同様とする。
⇒ **実装済**

現行

事業者	補助金額1500万円まで	1500万円を超える部分
中小企業	1/2 (2/3)	1/3
小規模事業者／再生事業者	2/3	1/3

改訂後

事業者	一律
中小企業	<u>1/2 (2/3)</u>
小規模事業者／再生事業者	<u>2/3</u>

【カタログ注文型】

- ▶ 補助上限額については、従業員規模が小さい事業者を引き上げ。⇒ **実装済**

従業員数	現行：補助上限額 (大幅な賃上げを行う場合)	引き上げ後：補助上限額 (大幅な賃上げを行う場合)
5人以下	200万円 (300万円)	<u>500万</u> <u>(750万)</u>
6人～20人以下	500万円 (750万円)	<u>750万</u> <u>(1,000万)</u>
21人以上	1,000万円 (1,500万円)	1,000万 (1,500万)

(参考) 省力化投資補助金 (カタログ注文型) の活用事例

清掃・配膳ロボット、バックヤード業務サポート 1-4-1. 測量機

申請時期 2025年 2月
交付決定 2025年 3月

諫山工業株式会社

都道府県 熊本県

業種 一般土木建築工事業

従業員数 47人

資本金 8000万円

組織形態 中小企業者 (組合関連以外)

測量機

事業概要

熊本市及び熊本市近郊と水俣地区を主な営業エリアとし、公共工事を主として土木及び舗装工事を行っている。

1947年設立以来74年の歴史があり、高度な技術が求められるトンネルや橋梁工事の実績を多数有している。



省力化効果

構造物設置のための測量業務

導入前

- 2名体制で計週60時間ほど要していた
- 従来の方では経験の違いによって計測のスピードや精度に差が生じていた

導入後

- **1名体制へ移行することで、週30時間分の削減**
- 作業効率の向上により生まれたリソースを活用し、工期短縮や新人育成に取り組み、新規案件の獲得と事業拡大を目指す

導入設備

測量機

(自動視準・自動追尾機能付き高機能トータルステーション)



【販売事業者】
株式会社コンゴー測器

事業者メッセージ

- 長年取引のある販売事業者様から補助金の紹介があり、丁寧なサポートをして頂けるとのことで、熊本県内では初めての共同申請を決意しました。
- 省力化投資補助金は、建設業者が抱える人手不足や生産性向上を解決するためにも有効な手段です。初期投資の負担は大きいですが、国補助金に加えて、今後、熊本県独自の後押し補助金を活用することで、自己負担が軽減できて、コスト削減や業務効率化に繋げることができます。

(参考) 省力化投資補助金 (一般型) の活用事例

実際に採択された案件の概要紹介

一般型公募・第4回

卸売業

一連の業務プロセスを自動化・効率化することで、高い省力化効果が見込まれる事例

食肉の加工・卸売業を営む事業者の例

導入前の課題

- 商品情報がエクセルを中心とした分散管理となっているため、部門間連携が十分に機能していない。そのため在庫の偏在や欠品・過剰在庫の発生、納期調整の非効率といった問題が生じ、需給管理全体の精度にも課題が発生している。
- 営業に顧客別データ（使用部位・調理工程・発注傾向）が共有できず、用途別加工の提案力を発揮できていない。
- 現場では手入力・転記作業が多く、在庫検索1200分/日など、非現実的な工数が発生している。

導入する設備

基幹システム一式

業務データを統合し、一連の業務を一元管理することで自動化と柔軟な運用を実現する。

ハンディスキャナー

入在庫・加工実績・在庫照会・ラベル発行をバーコードで即時登録。

モバイルプリンター

出荷明細・ラベルを現場で即時印刷。

導入後の効果（見込み）

- 基幹システムとハンディ連動により入力・照合作業が自動化され、1日48.2時間の工数を削減し業務効率が大幅に向上。
- バーコード運用により在庫更新が即時反映され、誤出荷防止と需給調整の精度向上を実現し、在庫偏在も解消。
- 営業・加工・在庫部門の生産性を改善し、用途別加工の提案力を強化できることで、事業全体の競争力向上が期待できる。

注)

・この資料は、今後、省力化補助金（一般型）の申請を検討されている事業者の皆様向けに、申請のイメージがわくよう、参考として、第4回公募において実際に採択された事業計画の概要をお示しするものです。
・ここでお示しする事業計画の概要は、事業者から提出のあった事業計画を事務局にて短縮・要約等して加工したものであり、実際に提出された事業計画書とは異なります。
・なお採択審査においては、様々な観点から総合的に審査をさせていただきますので、ここで紹介した事業計画と同様の事業計画を提出したとしても、不採択となる可能性がありますのでご注意ください。

(参考) デジタル化・AI導入補助金の概要 (令和7年度補正)

- 中小企業・小規模事業者等の労働生産性の向上を目的として、デジタル化やDX等に向けたAIを含むITツール（ソフトウェア、サービス等）の導入を支援する補助金。
- 令和7年度補正予算事業から、「デジタル化・AI導入補助金（旧：IT導入補助金）」と名称を変更。

	通常枠	複数者連携 デジタル化・AI導入枠	インボイス枠		セキュリティ 対策推進枠
			インボイス対応類型	電子取引類型	
活用イメージ	ITツールを導入して、業務効率化やDXを推進	商店街など、複数の中小・小規模事業者で連携してITツール等を導入	ITツール等を導入して、インボイス制度に対応	発注者主導でITツールを受注者に共有し、取引先のインボイス対応を促す	サイバーセキュリティ対策を進める
対象経費	ソフトウェア購入費、クラウド利用料（最大2年分）、導入関連費（保守運用やマニュアル作成等のサポート費用と、IT活用の定着を促す導入後の“活用支援”）も対象		クラウド利用料（最大2年分）		サイバーセキュリティお助け隊サービス利用料（最大2年分）
	単独申請可能なツールの拡大	ハードウェア購入費			
補助上限	ITツールのプロセス数が1～3つまで： 5万円～150万円 4つ以上： 150万円～450万円	(a)インボイス枠対象経費：同右 (b)消費動向等分析経費：50万円×グループ構成員数 (a)+(b) 合わせて3,000万円まで (c)事務費・専門家費：200万円	ITツール： 1 機能：～50万円 2 機能以上：～350万円 PC・タブレット等： ～10万円 レジ・券売機等： ～20万円	～350万円	5万円～150万円
補助率	中小企業：1/2 最低賃金近傍の事業者：2/3 (令和6年10月から令和7年9月の間で、「当該期間における地域別最低賃金以上～令和7年度改定の地域別最低賃金未満」で雇用している従業員が全従業員30%以上である月が3か月以上であることを示した事業者。)	(a)インボイス枠対象経費：同右 (b)・(c)：2/3	～50万円以下：3/4 (小規模事業者：4/5) 50万円～350万円：2/3 ハードウェア購入費：1/2	中小企業：2/3 大企業：1/2	中小企業：1/2 小規模事業者：2/3